

第2回 あいちロボット産業クラスター推進協議会 総会議事録

- 1 開 会
- 2 会長挨拶

愛知県では、「ロボット産業」を自動車、航空宇宙に続く第3の大きな柱として育てていくことを目指し、一昨年この「あいちロボット産業クラスター推進協議会」を設立してから、1年半が経過した。

現在では 325 の会員数を誇り、本協議会に対する注目や期待が高いことの表れと思っている。

これまで、本協議会では、「製造・物流」、「医療・介護」、「無人飛行ロボット」の3つのワーキンググループを立ち上げ、合計12回の会合を開き、延べ650名を超える方々にご参加いただいた。

それぞれのワーキンググループでは、座長の先生方を中心に現場の課題や、ロボットの開発に向けた可能性などの検討を重ね、この度、「知の拠点あいち重点研究プロジェクト」において、具体的な開発を進めることとした。

いずれのテーマも、この地域の我が国の誇る大学や企業の方々が知識・技術を結集し、世界に誇るロボットを開発いただけるものと確信している。

また、昨年8月には、国立長寿医療研究センター内に「あいちサービスロボット実用化支援センター」を開設し、県内企業のロボット展示や、実用化に向けた相談窓口を多くの方々にご利用いただいている。

さらに、ロボットの実証実験を促進させるために、モリコロパークや名古屋港、そして矢作川の河口などをドローンの実証フィールドとして活用いただいている。

今年度も、皆様方の課題を少しでも解決できるよう、きめ細かく取組を進めたいと思っている。

本日は「ロボットの未来」ということで富士機械製造株式会社の曾我社長に御講演いただく。お忙しい中ありがとうございます。また、「知の拠点あいち重点研究プロジェクト」においてロボット分野を7つ採用させていただいたが、これらについて御報告いただけるのでよろしくお

願いたい。

ロボット産業の発展は世界が目指すものであるが、特に「ものづくり
大国」日本の真骨頂だと思う。ぜひこの愛知からリードしていきたい。
そして自動車、航空宇宙に続く第 3 の大きな柱として盛り上げていき
たい。

3 講演

「ロボットの未来」

富士機械製造株式会社 代表取締役社長 曾我信之 氏

4 報告

知の拠点あいち重点研究プロジェクト ロボット分野採択テーマにつ
いて

- ① 高齢者が安心快適に生活できるロボティックスマートホームの開発
- ② 介護医療コンシェルジュロボットの研究開発
- ③ 航空エンジン製造自動化システムに関する研究開発
- ④ 施設園芸作物の収穫作業支援ロボットの研究開発
- ⑤ 鳥獣害・災害対応ドローンに関する研究開発
- ⑥ 愛知次世代ロボットの産業化・市場創出を推進する要素技術開発
- ⑦ ロボット実用化のためのリスクアセスメント支援システム構築